

単元評価規準と小単元評価規準

研究事例	第3章ビジネスと流通活動 情報・通信業者のビジネスを知ろう 学習支援用パソコンを活用した授業展開例			
単元名	第3章ビジネスと流通活動 1 経済活動と流通 2 流通活動の特徴 3 流通活動と企業 4 ビジネスの担当者			
単元の目標	生産者、卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など流通に関連するビジネスの担当者を取り上げて、その活動の概要について理解させる。			
単元の評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	ビジネスの諸活動に関する諸問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスに対する望ましい心構えや実践的な態度を身に付けている。	ビジネスに関する諸問題を経済生活との関連から的確に把握し、自ら考察を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術と望ましい心構えを身に会の一員としてビジネスの諸活動を適切に実践するとともに、その成果を的確に表現する。	商業を学ぶ目的や学び方を理解するとともに、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会におけるビジネスの意義や役割を理解している。

小単元名	4 ビジネスの担当者（15時間）			
小単元の目標	卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など流通に関連するビジネスの担当者を取り上げて、その活動の概要について理解させる。			
小単元の評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	生産者、卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など流通に関連するビジネスの担当者に関心をもち、その活動や動向について、自ら意欲的に調べたり、まとめたりしようとする。	生産者、卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など流通に関連するビジネスの担当者について、その活動や動向を様々な角度から考察するとともに、活動の概要と変化をとらえようとする。	生産者、卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など流通に関連するビジネスの担当者に関する様々な資料を活用し、活動の概要およびその動向について把握し説明することができる。	生産者、卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など流通に関連するビジネスの担当者について基礎的・基本的な知識を身に付け、その活動や動向について理解している。

小単元の指導と評価の計画

小単元「ビジネスの担当者」の指導と評価の計画

		授業の流れ	一次 生産者のビジネスを知ろう (2時間) 二次 売買業者のビジネスを知ろう (2時間) 三次 物流業者のビジネスを知ろう (2時間) 四次 金融業者のビジネスを知ろう (2時間) 五次 保険業者のビジネスを知ろう (2時間) 六次 情報・通信業者のビジネスを知ろう (3時間) 七次 サービス業者のビジネスを知ろう (2時間)			
次	時	学習内容	学習活動における具体的評価規準および評価方法			
			ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
6	1	・情報・通信業者が、わたしたちの生活に多くの利便性を提供したり、企業活動を支える業務などを通じて、経済や社会の発展に重要な役割を果たしていることを理解する。	・変化・発展を続けている情報・通信業者の役割について興味を示し、情報通信機器の世帯保有率について主体的に学習しようとする態度が見られる。 (観察・ノート記述)	・情報・通信業者がどのようなかたちでわたしたちの生活や、企業活動を支えているのかを考察しようとする。 (ワークシート)	・情報・通信業者がどのようなかたちでわたしたちの生活や企業活動を支えているのかを調べた結果を具体的に説明することができる。 (発表)	・情報・通信業者がはたす社会的役割について理解している。また、こんにち情報通信の分野は、急速な技術革新によって変化・発展を続けていることを理解している。 (ワークシート)
	2	・情報・通信業のおもなサービスの種類とインターネットの普及により生まれた新しいビジネスについて理解する。	・情報・通信業のサービスの種類を積極的に理解すること、また、インターネットの商業利用の実態を自ら主体的に学習しようとする態度が見られる。 (ワークシート・観察)	・電気通信事業の規制緩和が通信事業市場をどのように変化させたか、また、インターネットの普及が情報・通信業者のビジネスをどのように変化させたかを考察しようとする。 (ワークシート・ノート記述)	・現存する情報・通信業者がどのようなサービスを提供しているのか、また、インターネットの普及によってどのようなビジネスが出現したのかを様々な角度から説明することができる。 (発表)	・情報・通信業者のサービスの種類が多岐にわたることを知り、ブロードバンド時代の到来によってインターネットビジネスがどのように展開されているかを理解している。 (ワークシート・観察)
	3	・情報通信分野のビジネスが、情報のアナログからデジタル化の進展によって大きく変化しつつあることを理解する。	・情報のアナログからデジタル化によって変化するビジネスについて関心を持ち、携帯電話やテレビ放送の双方向通信について自ら意欲的に調べることができる。 (観察・ノート記述)	・情報のデジタル化の進展によって、今後どのような新しいビジネスが展開されるかについて考察しようとする。 (ノート記述)	・インターネット利用人口推移データをもとにグラフが作成できる。アナログからデジタルへの転換によって変化しつつあるビジネスについて調べた結果を、具体的に説明することができる。 (発表・資料作成)	・インターネット利用者が年々急増している状況を把握し、情報・通信業者がわたしたちの生活や企業の活動を支えてくれていることを理解している。 (観察・ノート記述)

## 学 習 指 導 案

科 目	ビジネス基礎	単 元 名	第3章ビジネスと流通活動 ビジネスの担当者
本時の主題	6 情報・通信業者のビジネスを知ろう (1時間目/3時間)		
本時の目標	<p>① 変化・発展を続けている情報・通信業者の役割について興味を示し、情報通信機器の世帯保有率について主体的に学習しようとする態度が見られる。【関】</p> <p>② 情報・通信業者がどのようなかたちでわたしたちの生活や、企業活動を支えているのかを考察しようとする。【思】</p> <p>③ 情報・通信業者がどのようなかたちでわたしたちの生活や企業活動を支えているのかを調べた結果を具体的に説明することができる。【技】</p> <p>④ 情報・通信業者がはたす社会的役割について理解している。また、こんにち情報通信の分野は、急速な技術革新によって変化・発展を続けていることを理解している。【知】</p>		
指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価	
<p>&lt;導入 10分&gt; 資料を見て各種情報通信機器の保有率を確認するとともにその動向を理解する。</p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>情報通信機器の保有率についてインターネットを利用して調べてみよう。</p> </div> <p>総務省の情報通信統計データベースにアクセスし携帯電話、パソコン、カーナビゲーション・システムなどが右肩上がりであることを確認する。</p>	<p>学習支援用ノートパソコンを活用する。 URL または検索キーワードを<b>板書</b>する。 [評価] (目標①) 情報通信機器の世帯別保有率について主体的に調べることができるか。 &lt;評価方法&gt; 観察</p>	
<p>&lt;展開 30分&gt; ・わたしたちの生活や企業活動の中で携帯電話がどのように活用されているかをグループ討議、および他のグループの発表を聞くことで理解させる。</p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>携帯電話の利便性についてインターネットを利用して調べ、グループで討議した結果を発表しよう。</p> </div> <p>インターネットを活用し、グループで討議する中で、携帯電話の利用内容が次に示すものであること、「携帯情報端末」と呼ばれる所以について理解し確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の通話</li> <li>・電子メールや静止画・動画の送受信</li> <li>・WWW閲覧</li> <li>・電子決済</li> <li>・家電コントロール</li> <li>・GPS搭載で教育・福祉・地域安全に利用</li> </ul> <p style="text-align: center;">&lt;ワークシート記入&gt;</p>	<p>・4人一組のグループを指定し、司会者、書記、コンピュータ検索係、発表者を決めさせる。その後討議させる。 書記は討議の中で出た意見等をノートに書きとめ、討議終了後に書記の記録をもとに班員がワークシートに内容を箇条書きするよう指導する。 [評価] (目標④) 携帯電話の利便性について理解することができたか。 &lt;評価方法&gt;ワークシート</p> <p>いくつかのグループ代表者に討議の結果を発表させる。 [評価] (目標③) 携帯電話の利便性についてわかりやすくプレゼンテーションできたか。 &lt;評価方法&gt;発表</p> <p>他のグループの発表を聞き、自分のグループで出なかった意見をワークシートに記入させる。</p>	
<p>・情報と通信の融合が情報の価値をより高める役割をはたすことを説明し理解させる。</p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>教師の説明を聞こう。</p> </div> <p>情報の価値というもの、情報の価値そのものと、情報の受発信が、迅速・正確に伝達・交換されることであることを確認する。</p>	<p>・<b>板書</b>をしたあと説明する。説明を聞かせたあとで<b>板書</b>事項をノートに記入させる。 [評価] (目標①) 教師の説明を聞いたうえで板書事項をノートに記入しているか。 &lt;評価方法&gt;ノート記述</p>	

注1

注2

資1

注3

注4

資2

注5

<p>&lt;まとめ 10分&gt;</p> <p>・携帯電話の利便性をまとめさせることを通じ、情報・通信業者が、わたしたちの生活や企業活動を支え、経済社会の発展に重要な役割を果たしていることを理解させる。</p> <p>・本時に学んだ携帯電話会社は電気通信事業法で定められた電気通信事業者であることを説明・理解させた上で、他にどのような情報・通信業者が存在するのかを調べてくるよう指示する。</p>	<p>ワークシートにまとめを書こう。</p> <p>携帯電話がわたしたちの生活や企業活動をどのように支えているかをワークシートのまとめ欄に記入する。</p> <p>携帯電話会社は電気通信事業法で定められた電気通信事業者であることを理解する。また、宿題の内容をノートに書く。</p>	<p>・指導案展開部①②のまとめをワークシートに記入させ提出させる。</p> <p>[評価] (目標①)</p> <p>携帯電話がわたしたちの生活や企業活動をどのように支えているかを考察しようとする。</p> <p>&lt;評価方法&gt;ワークシート</p> <p>・説明したことおよび宿題の内容をノートに書かせるとともに、宿題を実施するための資料およびワークシートを配布する。</p> <p>[評価] (目標①)</p> <p>携帯電話会社が電気通信事業者であるという説明を聞くことができていたか。また宿題の内容をノートに書き留めたか。</p> <p>&lt;評価方法&gt;観察・ノート記述</p>	<p>注6</p> <p>資3</p> <p>資4</p>
--	--	--	-------------------------------

評価の観点→<関心・意欲・態度>【関】、<知識・理解>【知】、<思考・判断>【思】、<技能・表現>【技】

注1 学習支援用ノートパソコンを使用するための環境をあらかじめ確認しておく。

注2 総務省統計局<http://www.stat.go.jp/data/it/index.htm>からエクセルファイルデータをダウンロードする。

注3 携帯電話会社リンクサイト<http://www.hir-net.com/link/tel/portable.html>から携帯電話各社のさまざまなサービスを確認することができる。

注4 [ワークシート](#)別紙あり。

注5 [板書計画](#)あり。

注6 配布資料および[ワークシート](#)別紙あり。上場企業297社分の紹介がしてある。説明文を読んで興味を持った企業1社について調べてくるよう指導する。

## (世帯部門)

表1 情報通信機器の世帯保有率(平成8～14年)

年次	回答 世帯数 (実数)	携帯電話		PHS	ワープロ	パソコン	ファクシミリ	カーナビ	インターネット 対応型 テレビゲーム 機
			うちネット 対応型 携帯電話						
平成8年	4,159	24.9	...	7.8	41.7	22.3	20.7	3.3	...
9	4,443	46.0	...	15.3	50.0	28.8	26.4	7.0	...
10	4,098	57.7	...	13.1	46.9	32.6	31.9	9.3	...
11	3,657	64.2	8.9	11.5	44.2	37.7	34.2	11.6	...
12	4,278	75.4	26.7	13.0	44.7	50.5	40.4	16.0	...
13	3,845	75.6	44.6	9.1	33.7	58.0	41.4	17.5	9.0
14	3,673	86.1	47.7	7.6	31.8	71.7	50.8	23.8	11.0

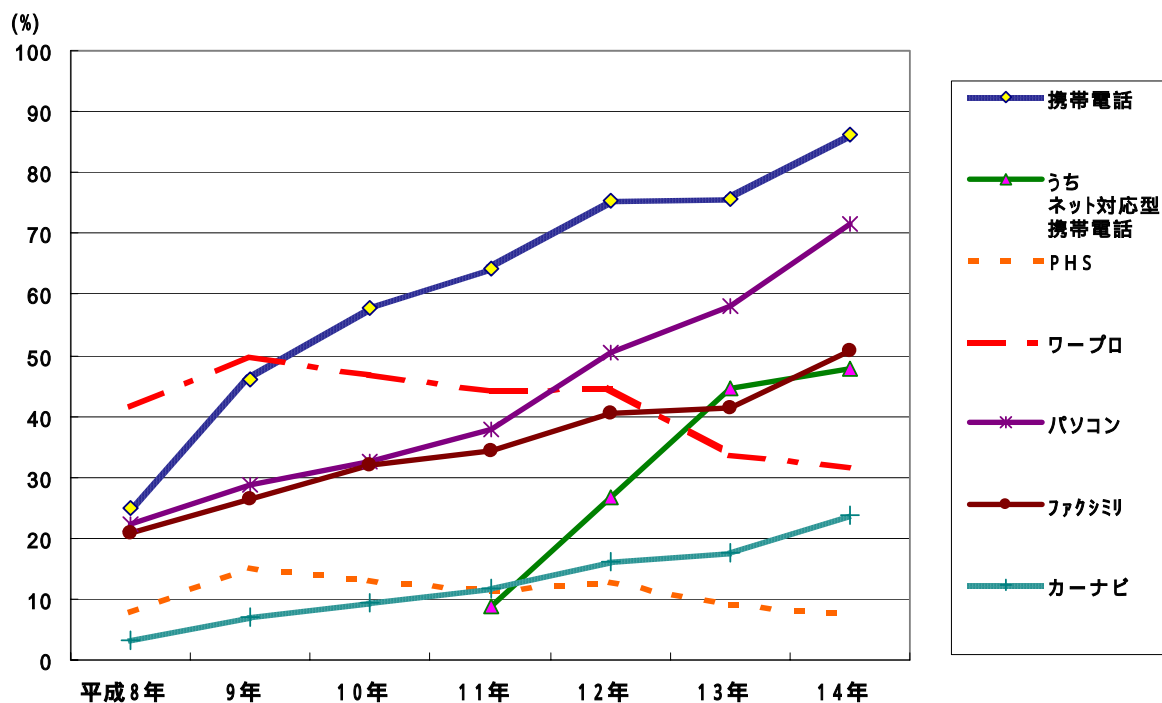
注) 複数回答。

資料 総務省情報通信政策局「通信利用動向調査報告書 世帯編」

【更新情報(平成16年7月30日現在)】

[最新の統計データへのリンク](#)

図1 情報通信機器の世帯保有率



わたしたちの生活や企業活動の中で携帯電話がどのように活用されているかを討議してみよう！

( ) 班	班員名 本人 ( )
活用例（グループ討議内容）  •  •  •  •  •  •	
活用例（他のグループ発表や教師の説明を聞いて）  •  •  •  •	
<b>まとめ</b> ----- ----- ----- ----- ----- -----	

## 板書計画

### 1 . 情報・通信業者の役割

総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/data/it/index.htm>

情報の価値

情報そのものの価値

情報の受発信が迅速・正確に伝達・交換されること

## 情報と通信の融合

情報が瞬時に伝達・交換

**情報の価値が高まる**

## 学 習 指 導 案

科 目	ビジネス基礎		単 元 名	第3章ビジネスと流通活動 ビジネスの担当者	
本時の主題	6 情報・通信業者のビジネスを知ろう (2時間目/3時間)				
本時の目標	<p>① 情報・通信業のサービスの種類を積極的に理解すること、また、インターネットの商業利用の実態を自ら主体的に学習しようとする態度が見られる。【関】</p> <p>② 電気通信事業の規制緩和が通信事業市場をどのように変化させたか、また、インターネットの普及が情報・通信業者のビジネスをどのように変化させたかを考察しようとする。【思】</p> <p>③ 現存する情報・通信業者がどのようなサービスを提供しているのか、また、インターネットの普及によってどのようなビジネスが出現したのかを様々な角度から説明することができる。【技】</p> <p>④ 情報・通信業者のサービスの種類が多岐にわたることを知り、ブロードバンド時代の到来によってインターネットビジネスがどのように展開されているかを理解している。【知】</p>				
指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価			
<p>&lt;導入 5分&gt; あらかじめ調べてきた実際に存在する情報・通信会社の業務内容を確認させる。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>情報・通信業のおもなサービスの種類を確認しよう。</p> </div> <p>各自が調べてきた情報・通信会社が教科書98頁の「情報・通信業のおもなサービス」に照らし合わせて、具体的にどのような業務を行っているのかを確認する。</p>	<p>事前に学習支援用ノートパソコンを貸し出し、実際に存在する情報・通信会社のホームページから事業内容等を確認させておく。(検索方法等は既に心得ている。) 会社リストについてはあらかじめ教師が一覧にして配布しておく。</p> <p>[評価] (目標①) 宿題をしてきたか。教科書を参照しているか。</p> <p>&lt;評価方法&gt; <a href="#">ワークシート</a>・観察</p>			
<p>&lt;展開 35分&gt; ・情報通信サービスの内容や区分を理解させるとともにインターネットの普及により生まれた新しいビジネスについて知る。</p> <p>・教師側からも事例を用いて説明する。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>電気通信事業の規制緩和が通信事業市場をどのように変化させたか、情報・通信業のビジネスモデルの一例を確認しながら考察しよう。</p> </div> <p>PCで情報通信会社を検索し、ビジネスの内容を確認したうえで発表する。</p> <p>以下の事業内容について説明を聞きながら理解する。(必要に応じてノートをとるとともに、配布されたプリント空欄をうめていく。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータネットワークに関するコンサルティング</li> <li>・コンピュータネットワークの管理</li> <li>・コンピュータプログラムの開発販売</li> <li>・ネットワークコンテンツの編集デザイン</li> <li>・インターネット上の広告</li> </ul>	<p>・Google・Yahoo・ライブドア・楽天など話題の企業を紹介して検索させる。</p> <p>サービス内容のうち難解なものは事例を用いて説明する。</p> <p>各自が取り上げる企業については、どのような事業内容であるかを具体的に説明できるようあらかじめ指導しておく。</p> <p>[評価] (目標③) インターネットの普及により生まれた新しいビジネスについてわかりやすくプレゼンテーションできたか。</p> <p>&lt;評価方法&gt;発表</p> <p>・実際の企業のビジネスモデルをとりあげる。 Google Yahoo ライブドア 楽天など</p> <p>授業を効率よく行うため説明にはPC、プロジェクトタなどを利用する。</p> <p>上記内容について、生徒が理解を深めることができるよう視覚に訴えるべくプレゼンを行う。</p> <p>[評価] (目標②) 電気通信事業の規制緩和が通信事業市場をどのように変化させたか、また、インターネットの普及が情報・通信業者のビジネスをどのように変化させたかを考察しようとする。</p> <p>&lt;評価方法&gt;<a href="#">ワークシート</a>・ノート記述</p>			

資3  
資4  
注1  
注2

注3  
注4  
注5



<p>・ I P 電話について少し説明する。</p> <p>40分(経過時間)</p> <p>・ I P 電話について少し説明する。</p>	<p>インターネットの普及により生まれた新しいビジネスについてインターネットを利用して調べたうえで発表しよう。</p> <p>③ I P 電話サービスを提供している企業を検索しブックマークしておく。</p> <p>I P 電話サービスを提供している企業を検索してみよう</p> <p>I P 電話サービスを提供している企業を検索しブックマークしておく。</p>	<p>・キーワード「I P 電話」で検索させ、ヒットした企業について数社ブックマークさせておく。次の授業までに該当企業の業務内容について調べてノートにまとめておくように指示する。</p> <p>[評価] (目標③)</p> <p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>取組姿勢・企業検索</p> <p>・キーワード「I P 電話」で検索させ、ヒットした企業について数社ブックマークさせておく。次の授業までに該当企業を調べ、企業名をノートにまとめておくように指示する。</p> <p>[評価] (目標①)</p> <p>ノートPCを使用して積極的に検索しているか。</p> <p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>観察</p>	<p>注6</p> <p>注7</p> <p>注8</p>
<p>&lt;まとめ 10分&gt;</p> <p>インターネットの普及により生まれた新しいビジネスモデルについて配布したプリント空欄にまとめさせる。</p> <p>※ I P 電話サービスを提供している企業について、その業務内容等を調べておくよう指示する。</p>	<p>本時学習した内容をワークシートにまとめて提出する。不明な点は学習支援用ノートPCで教師が使用したプレゼンテーションファイルを確認する。</p> <p>※ブックマークした I P 電話サービス提供企業について調べてくることを確認する。</p>	<p>あらかじめ、本時のプレゼンテーションファイルをオールインワンサーバにアップしておく。</p> <p>[評価] (目標④)</p> <p>インターネットの普及により生まれた新しいビジネスモデルについて理解することができたか。</p> <p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>ワークシート・観察</p> <p>※指示された宿題についてノートに書かせる。</p> <p>[評価] (目標①)</p> <p>I P 電話サービスについて興味をもったか。</p> <p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>ノート記述・観察</p>	

評価の観点→<関心・意欲・態度>【関】、<知識・理解>【知】、<思考・判断>【思】、<技能・表現>【技】

- 注1 インターネットにて、ヤフージャパンのトップ→ファイナンス→企業情報・業種別→情報通信と進めていくと約300社の上場企業が一覧になっている。株価チャート、企業情報へのリンクが貼ってあるので生徒が事前に調べ学習をするのに最適である。
- 注2 生徒が発表する際には検索したサイトが皆に見えるようスクリーン投影などを考える。
- 注3 楽天のWEBサイトはショッピング関係サイトであるため学校間総合ネットからは閲覧できない。
- 注4 今回はライブドアについてとりあげることにした。情報・通信業者がプロ野球に参入することでどのようなメリットがあるのかということも含め説明する。
- 注5 特定の企業に偏った説明にならないよう配慮する。
- 注6 「I P」がインターネットプロトコルであるということは情報処理の授業で習得しているはずであるが、インターネットというインフラが整った環境で使用できることを簡単に説明する。
- 注7 ダウンロード方法については以前に説明したことがあるが、配布するプリントに記載しておくようにする。
- 注8 加入者どうしであれば通話距離や時間にかかわらず無料で使用できる場合があることに触れたり、家庭で I P 電話を利用しているかを生徒全体に問いかけたりするなど興味・関心をもたせて授業を終えるようにする。

企業名→
業務内容
•
•
•
•
•
•

企業名→
業務内容
•
•
•
•
•
•
•
•

1年4組 番・氏名（ ）

※外枠にそって切り取りノートに貼付すること。

## 学 習 指 導 案

科 目	ビジネス基礎	単 元 名	第3章ビジネスと流通活動	ビジネスの担当者
本時の主題	6 情報・通信業者のビジネスを知ろう (3時間目/3時間)			
本時の目標	① 情報のアナログからデジタル化によって変化するビジネスについて関心をもち、携帯電話やテレビ放送の双方向通信について自ら意欲的に調べることができる。【関】 ② 情報のデジタル化の進展によって、今後どのような新しいビジネスが展開されるかについて考察しようとする。【思】 ③ インターネット利用人口推移データをもとにグラフが作成できる。アナログからデジタルへの転換によって変化したあるビジネスについて調べた結果を、具体的に説明することができる。【技】 ④ インターネット利用者が年々急増している状況を把握し、情報・通信業者がわたしたちの生活や企業の活動を支えてくれていることを理解している。【知】			
指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価		
<導入 15分> ・インターネット利用者が年々急増している状況を把握し、情報・通信業者がわたしたちの生活や企業の活動を支えてくれていることを確認させる。  ・インターネットの利用者がなぜ急増してきたのかを理解させる。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     インターネット利用人口推移データをインターネットからダウンロードして、表計算ソフトを利用してグラフ化してみよう。                 </div> 総務省の情報通信統計データベースにアクセスしインターネット利用人口の推移が右肩上がりであることを作成したグラフで確認する。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     インターネット利用人口が急増してきた理由を考えてみよう。                 </div> ・コンテンツの増加 ・通信環境ブロードバンド化 ・産官学における普及活動 によることを確認し理解する。	・コンピュータ実習室を利用する。 URL または検索キーワードを板書する。 グラフが出来上がった生徒は各自プリントアウトし、ノートに貼付させる。 [評価] (目標③) ダウンロードデータからグラフを作成するとともにインターネット利用人口推移について理解することができたか。 <評価方法>資料作成・観察 ・全員に発問したあと、数名に指名し答えさせる。 板書説明する。 [評価] (目標①) 発問に対して積極的に発言することができるか。 <評価方法> 観察・ノート記述	注1 注2	
<展開 30分> ・インターネットが家庭や企業に普及したことでIP電話サービスの利用者数も急増していることを理解させる。  ・前時の宿題であったIP電話サービス提供企業調査結果に関し、料金体系やしきみなどについて発問することで、今後もさらに利用者が増加する傾向を理解させる。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     IP電話サービスの利用者が急増している理由を考えてみよう。                 </div> IP電話サービスの利用者急増は、インターネット環境のブロードバンド化によるものだとすることを理解する。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     挙手して、調べてきたIP電話サービスのしきみや料金体系について発表しよう。                 </div> IP電話サービスのしきみや料金体系を確認することで、さらに利用者が増加する傾向を理解する。	・全員に発問したあと、数名に指名し答えさせる。 板書説明する。 [評価] (目標④) IP電話サービスの利用者急増が通信環境のブロードバンド化によるものだとすることが理解できたか。 <評価方法> 観察・ノート記述  ・挙手させ発表者を決める。 [評価] (目標③) IP電話サービスのしきみや料金体系についてわかりやすくプレゼンテーションできるか。 <評価方法>発表	注4 注5 注5	

<p>&lt;まとめ 5分&gt;          ・情報のデジタル化によって、今後どのような新しいビジネスが展開されるかについて考察させる。</p>	<p>情報のデジタル化の進展によって今後どのような新しいビジネスが展開されるか考えよう。</p> <p>総務省の「ユビキタスネットワークの世界」を見て今後どのような新しいビジネスが展開されるかを考察し、ノートにまとめる。</p> <p><a href="http://www.kids.soumu.go.jp/ubiquitous/index.html">http://www.kids.soumu.go.jp/ubiquitous/index.html</a></p>	<p>・URLを板書する。          [評価] (目標②)          情報のデジタル化の進展によって今後どのような新しいビジネスが展開されるか考察できる。</p> <p>&lt;評価方法&gt; ノート記述</p> <p>※ノート提出</p>
--	---	---

評価の観点→<関心・意欲・態度> 【関】、<知識・理解> 【知】、<思考・判断> 【思】、<技能・表現> 【技】

注1 グラフ作成後プリントアウトさせるため、あらかじめ実習教室を確保しておく。

注2 [http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/field/tsuushin01\\_1.html](http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/field/tsuushin01_1.html)からエクセルファイルデータをダウンロードする。

注3・注4 板書計画あり。

注5 <http://www.kids.soumu.go.jp/ubiquitous/index.html>

板書計画

4 . 情報・通信業者の動向

インターネット利用人口の推移  
(平成9～15年末まで7年間)

ココにデータ表とグラフを貼付させる。

**インターネットの利用者急増した理由**

- ・コンテンツの増加
- ・通信環境ブロードバンド化
- ・産官学における普及活動

**IP電話サービス利用者数が急増した理由**

- ・通信環境ブロードバンド化
- ・安価な利用料

<http://www.kids.soumu.go.jp/ubiquitous/index.html>

インターネット利用人口の推移

	平成9年末	平成10年末	平成11年末	平成12年末	平成13年末	平成14年末	平成15年末
利用者数(万人)	1155	1694	2706	4708	5593	6942	7730
人口普及率(%)	9.2	13.4	21.4	37.1	44.0	54.5	60.6

(出典)「平成15年通信利用動向調査」